

山 旅

会報 No.223
好山好山旅会



サンブクリンドウ

平成24年10月例会山行計画

第一例会 南アルプス	10月 6日(土) ~ 7日(日) 甲斐駒ヶ岳	担当者 白井
第二例会 会津の山	10月13日(土) ~ 14日(日) 志津倉山 ~ 御神楽山	担当者 土方
第三例会 越後の山	10月20日(土) ~ 21日(日) 宝珠山 ~ 五箇山	担当者 高柳
第四例会 中央線の山	10月28日(日) 高川山 ~ ムスビ山	担当者 原田

平成24年7月第四例会報告

《 白馬岳～朝日岳 》

参加者： 高橋(和) [L]、小野、中村

計3名

7月26日(木) 晴れ

- 高橋 記 -

当初計画では夜行バスで柵池高原に入る予定でしたが、二人は「あずさ号」、私は「あさま号」から、同時刻に着く昼行バスで行き、 Gondola 駅で合流しました。 Gondola とロープウェイを乗り継いで柵池自然園入口に着き、山行計画書を投函した後、歩き出しました。

出発点の標高は約 1900m、それにしては暑い。樹林帯の中を行くので風を受けないので吹き出した汗が冷えることがない。拭っても拭っても汗が額から滴り落ちる。途中で昼食を摂り更に進むと、眼前に湿原の広がる所に出た。天狗原である。少し風を感じるが、今度は日射しを浴びて暑い。

今日はコースも短く、のんびり歩く。やがて岩塊の広がる乗鞍岳に着いた。ここは風も通り、日射しは薄雲に遮られ、心地良かった。ここから白馬大池に下った。山荘の前は多くの人でごった返していた。色とりどりのテントが並んでいた。中には若い外人の娘さんもいた。小さな声で「ハロー」と声を掛けてみた。

コースタイム

自然園入口 (12:50) ~ 水場 (昼食 14:00-15) ~ 天狗原 (14:35) ~ 乗鞍岳 (15:10) ~ 白馬大池山荘 (16:30)

7月27日(金) 晴れ

- 高橋 記 -

今日もコースは短い。山荘で朝食をいただき、雲一つない青空の下、雷鳥坂を歩き始めた。直ぐに高山植物の花が出迎えてくれた。展望の良い船越の頭から、白馬岳・鍵ヶ岳だろうか、幾つもの鋭いピークが望まれた。それらのピークは、いずれも白いレースのスカートを拵げたように幾筋もの雪渓を抱えていた。

展望を楽しみながら、ごつごつした岩塊の斜面を登り詰めると小蓮華山に出た。白馬岳が大きく感じられた。風はさほど強くない、この地にしては穏やかと言ってもよいだろう。昨日に比べて涼しく、非常に歩きやすい。やがて三国境に出た。明日あるく雪倉岳への道を確認して、のんびりと休むことにした。

今山行はリーダーであるが最後尾を歩いている。三国境から白馬岳への登り坂の途中で表面のツヤツヤした茶色に輝く大きな転石を見つけた。多分、蛇紋岩であろう。かつては白馬岳のさらに上に、この蛇紋岩を含む地層があったに違いない。村営山荘下で見たこともあるが最近は見られなくなったと聞いていたので、感慨もひとしおであった。

のんびり歩いたが白馬岳に着いたのは 10 時前、白馬大雪渓を見下ろすと小さな黒点が続いている。まるでアリの行列のような登山者の列であった。白馬山荘に降りても 10 時を少し回っている程度、こんな早い時間にチェックイン出来るかなと不安だったががすんなり受付をしてくれ、泊まる部屋と寝る位置を教えてもらった。後から若い夫婦(聞くと 40 代だという)が入って来て、私が清水岳に行くと言わずと一緒に行きたいと言う。

op (若夫婦を従えて清水岳まで往復した。今年は残雪が例年より多いようであった。幾つも雪渓を横断した。着いた清水平は雪原が広がっていたが、ハクサンコザクラをはじめとして高山植物の花が咲き誇っていた。)

コースタイム

白馬大池山荘 (5:35) ~ 小蓮華山 (7:30) ~ 三国境 (8:30-50) ~ 白馬岳 (9:45-55) ~ 白馬山荘 (10:10)

op 白馬山荘 (11:00) ~ 清水岳 (昼食 13:10-30) ~ 白馬山荘 (15:50)

7月28日(土) 晴れ

- 高橋 記 -

さあ今日は、本計画のメインイベント、花の雪倉~朝日岳を歩く。夜明け前の薄暗いなか白馬岳へ登り返す。山頂に着いたが未だ陽は上がっていない。山頂にいる人は御来光を待つのであろう。我々の目的は「お花」である。三国境から道を分けた頃には空は明るくなって、いろんな種類の「お花」が歓迎してくれていた。

蓮華温泉に下る鉢山道への分岐の手前で朝食を摂った。鉢ヶ岳を巻いている道も「お花畑」であったが、避難小屋に下る坂で黒い岩に出会った。多分、かんらん岩であろう、水と反応し蛇紋岩化した岩もみられた。避難小屋で一休みし雪倉岳を目指す。

雪倉岳の山頂付近も一面の「お花畑」であった。少し風が強く、山頂の岩の風下に腰を下ろし、眺望を楽しんだ。雪倉岳からの下りにも、かんらん岩が多く、少しガレた場所もあった。ここまで水場に出会っていない。ごく小さな沢も枯れていた。鞍部の先に一筋の沢水を見つけた時は嬉しかった。水も美味しかった。

更に進むとやがて小松ヶ原の湿原に出た。ここも「お花畑」である。なんとミズバショウが咲いているではないか。点在する針葉樹、広々とした野原に加え、可憐な花たち、心が落ち着く爽やかな景観であった。

登り返して水平道との分岐に出た。水平道は雪が多く通行止めとの標識、がっかりし、ここで一休みした。朝日小屋に行くには朝日岳を登るしかない。急坂が待ちかまえていた。しかも樹林帯で風が通らない。途中で昼食を樹の下で摂った。幾つものパーティに道を譲り進んだ。山頂には多くの人が出た。小屋へ降りる下り坂の途中、二人から「先に行って」と言われ一人先を進む。少しガスがかかった先に朝日小屋があった。

コースタイム

白馬山荘 (4:10) ~ 白馬岳 (4:30) ~ 鉢の鞍部 (朝食 5:30-50) ~ 雪倉避難小屋 (6:50-7:10) ~ 雪倉岳 (7:50-8:05) ~ ツバメ平 (9:45-50) ~ 水平道分岐 (10:50-11:10) ~ 樹林帯 (昼食 12:00-15) ~ 朝日岳 (12:45-13:05) ~ 朝日小屋 (13:45)

7月29日(日) 晴れ

- 高橋 記 -

夜明け前、多くの登山者が次々と小屋を離れていく。予約しなかった登山者は別小屋の階段ベッドに入れられていたようである。それらの登山者を含めて100人以上は泊まっていたようである。我々は一人で一つの蒲団、山小屋にしては待遇が良かった。薄暗い道を多くの登山者が登っていく。山頂についたのは5時過ぎ、日の出を迎えているはずだが山頂は薄くガスがかかり太陽は見えなかった。

すぐに雪倉岳への分岐に出た。雪倉岳へ進む登山者もいるが、多くは我々と同じ蓮華温泉へ下るようである。道の先に、それら登山者が点々と見え隠れしている。我々は後ろのほうに近い

違いない。五輪の森の途中で二人から「私たちは調子が良くないので」先に行くように言われ、道もしっかりしており、これだけ登山者の列が途絶えることなく続いているのだから、お言葉に甘え分かれて行くことにした。

分かれて直ぐに五輪高原に出た。ここも「お花畑」であった。二人はここで「お花」を楽しむだろうと思った。急坂を下ると鉄橋に出た。私の地図には「鉄橋流失」と記載されているが再建されたのだろう。さらに下ると再び鉄橋に出会った。ここからは蓮華温泉も近いと思ったが、温泉までは300mも登り返すそうである。ふうふう、息を切らし、坂を登ると湿原に出た。兵馬の平の標識があった。

兵馬の平を過ぎると再び登り道、アヤメ平を過ぎて林道に出て、やっと一息、林道を歩くと蓮華温泉の小屋が目に見え飛び込んできた。

コースタイム

朝日小屋(4:10)～朝日岳(朝食 5:05-25)～青ザク(7:25-35)～鉄橋(8:55-9:00)～第二鉄橋(9:40-45)～兵馬平(10:15-25)～蓮華温泉(11:10 遅組 13:00)

費用

J R 立川～白馬 乗車券 4,620円 特急指定席券 2,810円
バス 白馬～梅池高原 540円 梅池 Gondola & 梅池ロープウェイ 1,720円
白馬大池山荘 一泊2食 9,000円 白馬山荘 素泊まり 6,300円
レストランスカイプラザ白馬 2,180円 朝日小屋 一泊夕食 8,000円
バス 蓮華温泉～平岩駅 1,490円
J R 平岩～大宮 乗車券 5,600円 特急指定席券 4,660円

§ 平成24年8月第3例会報告

《 乗鞍岳から丸黒山山行報告 》

8月18(土)、19日(日)

参加者 大田(リーダー)、高橋、清水、梅澤、木村、牛丸 6名
(記 大田)

8月18日(土)晴れ時々わか雨(1日目)

豊平～肩の小屋

乗鞍岳は標高が3026mの高山ではあるが、2702mの豊平までバスで乗り入れることができ、深田100名山では最も手軽に登れる山の一つである。今回は東京から4名、名古屋から2名の参加である。東京発の3名はバスの延着を考慮し、前日に夜行バスで松本に出て、松本から平湯温泉にバスを乗り継いで来たとのこと。彼らはバスが早く着いたので、平湯温泉に入り、我々より一足先に豊平に向かった。

平湯温泉のバス停留所前で新宿からの直通バスで到着した高橋さんと合流し、3人で豊平行きのシャトルバスに乗った。バスの乗客はそれほど多くはなかったが、登山スタイルの人、

観光客等さまざまであった。1時間ほどで畳平に到着した。

バスに乗っている間、かなり激しいにわか雨が降っていたが、我々がバスを降りる頃には止んでおり、幸運であった。道にはガスがかかり、雨の懸念もあったため、近道を30分ほど歩き、途中で合流した先発組みとともに14時半頃、肩の小屋に到着した。この日の宿泊者は10数人と少なかった。夕食までの時間をは食堂でコーヒーを飲んだり、風呂に入ったりして、のんびり過ごすことができた。

8月19日(日)晴れ時々曇り、一時にわか雨

肩の小屋～剣ヶ峰～千町尾根～丸黒山～国立青少年交流の家

剣ヶ峰からの下山口が分かりにくいことや、歩行時間が長いこともあり、朝の出発時間は4時とした。出発前に、弁当にしてもらった朝食を部屋で食べ、まだ暗いうちに小屋を出発した。

頂上までの道は、ザレているものの、両側にロープが張りめぐらされており、安全は確保されていた。剣ヶ峰に着くと既に数名の人が日の出を待ってカメラを構えていた。ここでご来光を拝み、記念写真を撮ってから下山の途についた。千町尾根への下山道は分かりにくいとのことだったので慎重に探した。頂上から10mほど下ったところにあったロープ際の1本の棒くいの下の石に赤い小さなマークが付いており、さらに下の方には石に小さな矢印もあったので、ここが下山口であることが分かった。

道は頂上直下をトラバースしながら正面の大日岳の方に続いていた、一部は両側にロープが張っており、分かりやすくなっており、コマクサの群落がピンクの花を咲かせていた。肩の小屋から頂上までは花は殆どなかったので、写真を撮りながら下山を開始した。

やがて大きな巨石のごろごろしたところを、赤いペンキで書かれた矢印を探しながら下って行った。中洞権現らしいところで、道を失いかけたが、上に回り込んだところに千町尾根への道を見つけてホッとした。この辺りから這い松地帯の厳しい藪こぎが始まり、ずいぶん難儀をした。

やがて樹林帯に入り、その先に湿原が現れ、そこに奥千町避難小屋が建っていた。小屋の中で小休止したが、よく掃除がされており、とても清潔であった。避難小屋を過ぎて暫く歩くとまた樹林帯に入った。ここでこのコースを登ってくる1名の青年と出会った。前日の雨のせいか、足元に小さな水たまりが、多くあり、刈り払いなど手入れもされていないようで足元がよく見えず、滑りやすく、何度か転んでしまった。

だいぶ長く下ったところで丸黒山への急登が始まった。思っていたよりも長い登りで大汗をかき、登りきったところが小広くなっており、そこが頂上だった。晴れていれば頂上から加賀の白山が見えるようであったが、あいにく降りだしたにわか雨で眺望は得られなかった。

頂上で昼食休憩をとったが、既に数名の登山者が先着しており、我々が、乗鞍岳から下山してきたと言うと、皆さん驚いていた。乗鞍岳からのコースは長いいため、最近はこのコースを歩く人が少なくなっているとのこと。丸黒山の頂上から、タクシー会社に電話をして登山口のある乗鞍青少年交流の家まで15時に迎えに来るよう予約をした。

下山路はよく歩かれているようで道も広く、手入れもされており分かりやすかった。乗鞍青少年交流の家から丸黒山まではオリエンテーリングのコースになっているようで、途中の木々には60番から1番までの番号が書かれた標識が付けられていた。しかしながら思ったよりも時間がかかり、タクシーをだいぶ待たせるようになるので、新道と旧道分岐にある枯

松平休憩舎から先は先発隊と本隊の2班に分けて下山した。

結局本隊が乗鞍青少年交流の家に着いたのは15時半であった。下山路はロングコースで藪こぎも長く疲れたが、それなりに充実感のある山旅であった。

コースタイム

(8月18日)

畳平(13:50)肩の小屋(14:30)

(8月19日)

肩の小屋(4:05)剣ヶ峰(5:00~15)千町尾根で朝食休憩(6:00~15)中洞権現(7:30)奥千町避難小屋(9:00~10)丸黒山(12:08~28)松枯平休憩舎(13:30~35)乗鞍青少年交流の家(15:30)

費用(バス代金については各自により異なるので計画書ベースを記載)

濃飛バス	新宿~平湯温泉	5,700円
	平湯温泉~畳平	1,380円
	高山BC~新宿	6,500円
ジャンボタクシー	乗鞍青少年交流の家~高山BC	10,200円(1台)
宿泊代	肩の小屋	8,500円

以上

★お知らせ

1. 8月第一例会・針ノ木岳、第二例会・西沢溪谷、第三例会・白根三山は山行中止になりました。

2. 役員会・総会のお知らせ

日時 9月30日(日)13時~17時

場所 豊島区勤労福祉会館

議題 山行計画案作成(来年1月~6月)

山での歩き方(仮題)

その他

役員会・総会終了後、会食を計画しますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。

山旅 No.223 平成24年9月1日発行 発行者 大田雅巳 編集者 鈴木陽子

発行所 名古屋市南区駈上1-14-37-606 大田方 好山好山旅会

WebSite <http://www.kozanko.net/>